

2014-15年度 RI第2760地区
第2回地区内広報・雑誌委員長会議 講評

西三河中分区ガバナー補佐 桐渕利次

2015年3月26日（木）

西三河中分区ガバナー補佐の桐渕でございます。ご指名により本会議の講評をさせていただきます。

尾本和弘IT委員長のご厚意による広報に関するDVDを、各クラブに配布していただきました。広報活動にお役立て頂きたいと思っております。

ガバナー代理高須洋志地区幹事、片山主水地区広報カウンセラー、籠橋美久地区広報委員長より、お話をいただきました。

公共イメージコーディネーターであり、ロータリー親善大使の司葉子様には、公私ともにお忙しい中、「日本の広報のあり方について」大変わかりやすく、ご丁寧なご講演を頂き、有り難うございました。一人でも多くの会員にお伝えしたいご講演でございました。心より感謝申し上げます。

休憩後に、ロータリーの友およびJapan Rotary Day in Aichiについての2つのご報告があり、今後も継続する予定のWWFへの協力のお願いがありました。

振り返りますと、1年前の地区研修・協議会第3分科会におきまして、本年度、広報部門は「ロータリーの公共イメージと認知度の向上のために」極めて重要な役割が求められており、特に「ロータリーデー」「ロータリークラブ・セントラル」「立法案審議委員会」という3重点項目の広報は委員長の手腕にかかっております。と申し上げましたが、その成果はいかがでしたでしょうか？

この3つの重点項目は地区幹事より全ガバナー補佐に出された緊急指令でございまして、年度の最重点項目として、ガバナー補佐訪問にて強調させていただきました。

皆様のご協力により、今年度はジャパン・ロータリーデーの大成功を納め、日本全国のガバナー、PDGに当2760地区のパワーをお示しすることができました。会場内やロータリーテントの中では、ご高名な方々とご一緒させていただき、またとない貴重な機会を頂きました。折に触れ、微力ではございますが、私たち会員一人一人が広報の一端を担うように、今後とも努めたいと思っております。

広報には事実を公平・平等に伝える使命があり、過大な評価や脚色は断じて戒めなければなりません。また、過去の年度の記録を大切に保存することが、年度を引継ぐ責務であることを心に刻み、より良き次年度を迎えていただきたいと思います。本会議が今年度を振り返り、次年度に向けた「ロータリーに輝きを」となりますように、お役立ていただければ幸いです。

以上、簡単ではございますが、講評を述べさせていただきました。本日は誠に有り難うございました。